

大正十一年十月十三日

朝日商會御中

職工一同

之レニ對シ會社ニ於テハ職留職工ノ要求ヲ拒
絶シテ四月解雇職工側ニ對シテハ解雇手當ニ
過當分ヲ支給スル事ヲ回答シタリニ職工等ハ
尚ホ之レニ満足セズ實行委員島田倅直外四名
全東京鐵工組合本部ニ到リ應接ヲ乞ヒタリ
ニ翌十五日令組合ヨリ同口並造、礫石信一、市村
光雄ノ三名素場ニ實行委員ニ一一般職工ノ意
留ヲ以テ更ニ所轄流石、警務部長ヲ訪問シ職工
側ニ運動ニ就テ諒解ヲ求メ尚團長等以テ希望ノ
意ヲ述バ又一方令社側ヨリ、申出エテ了レ全署
長ノ斡旋ニ依リ全署際上ニ於テ令見スルコト

ハナリ職ニ能ク全日午後ニ時三十分ヨリ全署
ニ進テ新製團正尋常名ト令社側有格社長松下
肇、高及森、藤士、渡辺、丸、三、名ト令見交済シタ
ル知會社側ハ窮境ヲ訴ヘ交渉員ノ面會ヲ立ツ
ル爲ニ週官令ヲ支給スルコトニ議定セルニ因
リ學ハ職ニ尋常ノ意嚮ヲ賃シタリ上再々令見ス
ルコトヲ期シテテ期取リタリ

解決

前日尋常ハ直々ニ職ニ金部ニ對シ榮澤ノ経過ヲ
報告シ次イテ實行委員等ト協議ヲ遂ケテ六月
ニ後四時之尋常八名ニテ神田區解雇手當社ニ令該
前記社長外二名ト令見交済ヲ乞フシカ令
社ハ令職工ヲ解雇シ工場ヲ閉鎖スルコト、シ